学校番号	3025

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)生物演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	生物基礎　（数研出版） チェック＆演習　生物基礎　（数研出版） センサー　生物基礎　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「生物基礎」の重要事項の学習を行った後に、それぞれの分野についてもプリント教材などを用いて、課題学習や問題演習を中心に授業を展開する。また、必要に応じて確認テストや演習テストを行って、生徒の学習意欲を高める。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけさせる。観察、実験なども行い、基本操作の習得と記録、整理する能力を身につけさせる。
【思考力、判断力、表現力等】
生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会とのの関連をはかりながら、生物や生物現象に関心を持ち、意欲的に探究する態度を育てる。また、生物の共通性と多様性を意識して、科学的な見方や考え方を身につけさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけることができる。観察、実験なども行い、基本操作の習得と記録、整理ができる。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会とのの関連をはかりながら、生物や生物現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。また、生物の共通性と多様性を意識して、科学的な見方や考え方を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	1．生物の特徴 ・生物の共通性としての細胞 ・エネルギーと代謝 2．遺伝子とそのはたらき ・遺伝情報と DNA ・DNA の複製と分配 ・遺伝情報の発現	a: 細胞のつくりと代謝の仕組みを把握し、遺伝学的な知識を身につけて生物の共通性を理解する。 b: 生物とエネルギー、遺伝に関する資料に基づいて生命活動について科学的な視点で他者にも伝えることができるようになる。 c: さまざまな実際の事例をもとに生物の共通性と起源について関連付けて理解する。	学習状況の観察 ノートの記述 小テスト・定期考査	学習状況の観察 ワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	探究活動 ノート 観察・実験ワークシート
2学期	ヒトの体内環境の維持	1．神経系と内分泌系による調節 ・体内での情報伝達と調節 ・体内環境の維持の仕組み 2．免疫のはたらき ・自然免疫 ・適応免疫 ・免疫と病気	a:体内での情報伝達がからだの状態の調節に関係していること理解し、異物が体内に侵入した際にはそれを排除する防御機構があることを理解する。 b:体内環境を維持するためにはたらく仕組みについてまとめて表現することができる。 c:自律神経やホルモン、免疫が医療に応用されていることを理解し、身の回りのさまざまな健康問題などにも結び付けてその原因等にも興味を持つことができる。	学習状況の観察 ノートの記述 小テスト・定期考査	学習状況の観察 ワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	探究活動 ノート 観察・実験ワークシート
3学期	生物の多様性と生態系	1．植生の多様性と分布 ・植生と遷移 ・植生の分布とバイオーム 2．生態系とその保全 ・生態系と生物の多様性 ・生態系のバランスと保全	a:世界各地の多様なバイオームとその変化について理解し、それに人間活動がどのように影響を与えているのか理解する。 b:生態系の成り立ちを理解し、生物どうしのつながりが、いかに種多様性にかかわっているかを考察する。 c:現代社会における環境問題について科学的な視点からその解決策を探ることができる。	学習状況の観察 ノートの記述 小テスト・定期考査	学習状況の観察 ワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	探究活動 ノート 観察・実験ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度